

第2回 Okinawa Pacific Eye Conference

謹啓

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび「第2回Okinawa Pacific Eye Conference」を
下記日程で開催することとなりましたのでご案内申し上げます。
つきましてはご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ
是非ともご出席を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2022年1月22日(土) 18:00~20:00

【会場】 ~~ホテルコレクティブ 2階大宴会場 (那覇市松尾2丁目5-7)~~

【形式】 ~~ハイブリッド開催~~ (Zoomを用いたLIVE配信 及び ~~現地会場参加~~)

『Opening Remarks』 知念 靖 先生 (沖縄県眼科医会 会長)

座長

古泉 英貴 先生

(琉球大学大学院医学研究科医学専攻眼科学講座 教授)

講演Ⅰ 18:00~18:40

『CRVO 克服への道』

鈴間 潔 先生

(香川大学医学部眼科学講座 教授)

講演Ⅱ 18:40~19:20

『眼内レンズアップデート』

根岸 一乃 先生

(慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授)

講演Ⅲ 19:20~20:00

『ガイドラインと Evidence Based Medicine』

木内 良明 先生

(広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授)

主催:千寿製薬株式会社

講演 I

CRVO克服への道

鈴間 潔 先生 (香川大学医学部眼科学講座 教授)

CRVOは虚血型に移行すると失明につながる疾患であり、黄斑浮腫は視力予後を不良にする。格子状光凝固、高圧酸素療法、炭酸脱水酵素阻害薬内服、硝子体切除、視神経乳頭放射状切開、ステロイド局所投与、全身又は眼局所の線溶療法など、さまざまな治療が試みられてきたが決定的な治療法は確立されていない。最近抗VEGF薬の硝子体注射がCRVOの黄斑浮腫を著明に改善することが明らかとなり治療の主流となりつつあるが投与後2、3ヶ月での浮腫再発が多く、繰り返し投与を余儀なくされることが問題となっている。日本発の眼底血流解析装置であるレーザースペックルフローグラフィ（LSFG）を用いCRVOの網膜血流を評価したところ、抗VEGF療法により黄斑浮腫と血流の両方が改善する症例が予後良好であることを見いだした。その後の症例を増やした検討では最終的に虚血型になった症例の平均血流速度は初回抗VEGF治療の前後で健眼の50%を超えておらずそのような場合予後不良であることが示唆された。LSFGを用いて血流を評価することは、病状把握および治療を行う上で有用である。

講演 II

眼内レンズアップデート

根岸 一乃 先生 (慶應義塾大学医学部眼科学教室 教授)

近年、白内障手術と眼内レンズ(IOL)の進歩に伴い、白内障手術の適応が拡大している。患者の高い期待に応えるためには白内障術後のQuality of Visionの一層の向上が必要であり、高機能眼内レンズを含む様々な眼内レンズの特性を理解し、患者のライフスタイルにあった術後屈折矯正を目指すことが重要である。

本講演では、近年発売された単焦点・多焦点眼内レンズの特徴と臨床成績について自験例のデータを交えて概説する。

講演 III

ガイドラインと Evidence Based Medicine

木内 良明 先生 (広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 教授)

Evidenceに基づいた診療、Evidence Based Medicine (EBM)が求められています。現在利用可能な最も信頼できる情報を踏まえて、目の前の患者さんにとっても最善の治療を行うこととEBMは定義されています。EBMの手順はまず目の前の患者の問題点を文章化します。クリニカルクエスチョン(CQ)と呼びます。次に問題点を解決するための情報を集め、その信頼性を含めて内容を吟味します(システムティックレビュー、SR)。そして吟味した結果を患者さんの診断、治療に役立てるわけです。結構手間です。ガイドラインは多くの人が迷い、疑問に思う点をCQとして立てます。論文や総説を集めてSRを行い、推奨文を書きます。ガイドラインは手間がかかるSRを既に行っています。ガイドラインはEBMを苦勞少なく行う良いツールと言えるでしょう。現在、緑内障診療ガイドライン第5版の改定作業が終盤に差し掛かりました。緑内障治療に対してCQを立てSRを行い、推奨文を作りました。緑内障治療における現時点でのエビデンスを紹介したいと思います。EBMはこれで終わりではありません。そのSR、推奨文の評価と改善が必要ですが、そのツールがクリニカルパスです。

主催：千寿製薬株式会社

ご参加方法① 現地来場

1. FAXまたはメールにて以下「お申込み内容」を記載いただき、事前申込みをお願い致します。

宛先：千寿製薬株式会社 九州第二グループ 吉住 康男/三村 勇人

FAX：092-272-1409 メール：y-yoshizumi@senju.co.jp

お申込み期限：1月14日(金) 終日

(この紙面をお送りください)

1.ご施設名

2.ご芳名

3.ご連絡先

(電話番号/E-mail等)

1月22日(土)：第2
現地

fic Eye Conference
し込みます。

WEB開催へ変更致しました
現地来場不可

会場参加の注意点

- ・ 感染予防対策の都合上、事前連絡なしの当日参加はご遠慮くださいますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。
- ・ 当日ご体調がすぐれない場合、また、感染予防対策対策上必要と思われる場合には、ご入室をお控えいただく可能性もございますので、予めご了承ください。
- ・ ご来場の際には、マスクの着用・手指消毒・検温管理にご理解とご協力をお願いいたします。

※講演会後の情報交換会は感染予防対策の都合上、予定しておりません。

お問い合わせ

千寿製薬株式会社 九州支店 九州第二グループ

〒812-0027 福岡市博多区下川端町9番12号 (福岡昭和通ビル5F)

吉住 康男 (mobile：080-6232-7651 e-mail：y-yoshizumi@senju.co.jp)

三村 勇人 (mobile：080-1472-6854 e-mail：h-mimura@senju.co.jp)

ご参加方法 WEB視聴

事前のご準備

ご使用になるお持ちの機器(パソコン・スマートフォン・タブレット等)に、ZOOMアプリのインストールをお願いいたします。

※ご視聴にはアプリが必要です。ブラウザ上ではご参加いただくことができません。

事前登録・ご視聴の手順

1 以下のURLまたはQRコードより、ご登録画面へアクセスをお願いいたします。

※本名での登録をお願い申し上げます。

2 必要事項【ご氏名・メールアドレス・ご施設名】のご入力をお願いいたします。

3 画面下部の **登録** をクリックして、ご登録ください。

----- (PC画面サンプル) -----

ご登録QRコード

4 ご登録いただきましたメールアドレスに、ご視聴用URLがメール配信されます。当日はそちらのURLもしくはリマインドメール記載のURLよりご参加をお願いいたします。

お問い合わせ

千寿製薬株式会社 九州支店 九州第二グループ
〒812-0027 福岡市博多区下川端町9番12号 (福岡昭和通ビル5F)
吉住 康男 (mobile : 080-6232-7651 e-mail : y-yoshizumi@senju.co.jp)
三村 勇人 (mobile : 080-1472-6854 e-mail : h-mimura@senju.co.jp)